# 教育セミナー（2024年4月1日～2025年3月31日）

### ●『医師および医療従事者のためのSkill up seminar』、『横浜市救急隊員との勉強会』とは

概　要：　『医師および医療従事者のためのSkill up seminar』
患者さまがその地域内のどの医療機関でも、安全でかつ統一された質の高い医療が受けられる事を目的としたセミナーで、医師および医療従事者なら誰でも参加できる。

『横浜市救急隊員との勉強会』
当院は救急車搬送があっての病院である。実際に当院へ救急搬送され、診療にあたった医師が患者さまの症例やその後の経過を報告し、活発な意見交換ができる会を目指している。

通年の開催頻度：『医師および医療従事者のためのSkill up seminar』　年４回
『横浜市救急隊員との勉強会 』　年２回

※2024年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら開催

### ●医師および医療従事者のためのSkill up seminar

主催：菊名記念病院　病診連携の会

| 開催日 | 講演内容 | 演者 | |
|---|---|---|---|
| 2024年10月16日 | **第65回　医師および医療従事者のためのSkill up seminar**<br>「紹介患者さんの治療経過のご報告」<br>「地域連携をうまく機能させる」 | 菊名記念病院 | 外　科　横溝　和晃　医師<br>水谷　政之　医師<br>三浦　康誠　医師<br>地域医療連携室　黒川　智 |

### ●横浜市消防局救急隊員との勉強会

| 開催日 | 講演内容 | 演者 | |
|---|---|---|---|
| – | – | – | – |

# 院内症例検討会（2025年4月1日～2026年3月31日）

**【1】院内症例検討会とは**

概要：医療者ひとりひとりのスキルアップ、病院全体の医療レベルのボトムアップ（底上げ）を目標とした定期検討会。
通年の開催頻度：毎月第２月曜日12：00より開催。

菊名記念病院は、1991年７月に開院した。
2000年６月に第１回症例検討会が開催され、2025年6月を持って25年目を迎えた。
毎月第２月曜日がハッピーマンデーの祝祭日ならばスキップ、コロナ禍の際は途切れた時期もあったが、
現在は着実に実施中で、当院医療者の資質向上に多大な貢献をなす伝統ある院内勉強会である。

**【2】開催記録**（2025年４月１日～2026年３月31日）

| 開催日 | | 演　題 | 発表者 | |
|---|---|---|---|---|
| ４月14日 | 第165回 | 災害時医療対応の原則　～CSCATTTについて～ | 救急救命科 | 田口　雄一郎 |
| ６月９日 | 第166回 | 超かんたんDPC係数の仕組み | 経営支援室 | 小野寺　豊 |
| ７月14日 | 第167回 | 周術期の薬剤管理 | 薬剤部 | 追川　瑞穂 |
| 10月６日 | 第168回<br>※全日病予演会 | ①Dx推進における医療ソーシャルワーカー業務の効率化に対する取り組み | 医療相談室 | 正徳　由華 |
| | | ②Kintoneを活用した院内修繕修理受付アプリの作成 | 総務課 | 近藤　秀樹 |
| | | ③RPAを活用した診療録管理室事務作業の業務効率化 | 診療録管理室 | 矢木　悦子 |
| | | ④乳がん術後体操を外来リハビリテーションの一環として導入した取り組みの報告 | リハビリテーション科 | 田中　理子 |
| | | ⑤Kintoneを活用した面会予約アプリ導入による業務効率化 | 看護部 | 小畑　朋子 |
| | | ⑥患者対応における医療従事者の困難さと医療対話推進者の役割 | まごころ課 | 乾　秋奈 |
| | | ⑦外国人看護師を教育する先輩看護師の意識調査<br>～OJTを有効的に推進するための課題～ | 看護部 | 村山　真弓 |
| 11月10日 | 第169回 | 当院の身体抑制　最小化の取り組み<br>～部署の特性を踏まえてチームケアで取り組んだ事例～ | 身体抑制最小化委員 | 坂本 みづ希 |
| 12月８日 | 第170回 | 放射線科医から診療放射線技師へのタスクシフト/シェア | 放射線科 | 穴村　聡 |
| ２月９日 | 第171回 | 作業療法ってなに？ | リハビリテーション科 | 小栁　俊介 |
| ３月９日 | 第172回 | 記録でつなぐ安全と信頼<br>～身体抑制をめぐる実践とその記録の在り方～ | 看護部　老人看護専門看護師 | 坂本 みづ希 |

## 糖尿病教室（2025年４月１日～2026年３月31日）

**■『糖尿病教室』とは**

概要：『糖尿病』をテーマとした市民向け講座である。糖尿病は自覚症状が出にくく、生活への支障がないため、放置しがちな疾患である。各部門で協力して定期的な情報発信･知識の共有を行うことで、患者さまの健康管理･QOL向上を目指す。

**通年の開催頻度**：年４回開催

新型コロナウイルス感染症の影響で対面での開催を見合わせていたが、2024年6月より糖尿病教室を再開した。

**■開催記録**(2025年４月１日～2026年３月31日)

| 開催日 | テーマ | 講師 | | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|
| 2025年<br>8 /26<br>第164回 | 糖尿病のお話 | 総合診療科医長（糖尿病専門医） | 髙畑　　洋 | ７名 |
| | HbA1cのいろは | 臨床検査技師 | 鈴木　悠斗 | |
| | 熱中症対策はしていますか？ ～ソフトドリンク症候群について～ | 看護師 | 岡野 美佐子 | |
| | 糖尿病の運動療法①　～上肢編①～ | 理学療法士 | 渡久山 伶奈 | |
| 2025年<br>10/28<br>第165回 | 糖尿病の方が気を付ける症状 ～低血糖とシックデイについて～ | 看護師（神奈川県糖尿病療養指導士） | 堀越　　貴恵 | 16名 |
| | 糖尿病の食事療法　～基本編～ | 管理栄養士 | 鎗田　　成美 | |
| | 糖尿病治療薬　～内服薬編～ | 薬剤師 | 谷若　　訓平 | |
| | 糖尿病の運動療法②　～下肢編①～ | 理学療法士 | 渡久山 伶奈 | |
| 2025年<br>12/23<br>第166回 | あなたの足は元気ですか？ ～フットケアについて～ | 看護師 | 岡野 美佐子 | 10名 |
| | 血糖測定器とリブレのお話 | 臨床検査技師 | 榎田 千華子 | |
| | 糖尿病治療薬　～注射薬編～ | 薬剤師 | 石塚　　楓子 | |
| | 糖尿病の運動療法③　～上肢編②～ | 理学療法士 | 佐久間 智香 | |
| 2026年<br>2 /24<br>第167回 | 糖尿病の合併症 | 総合診療科医長（糖尿病専門医） | 髙畑　　洋 | 12名 |
| | 糖尿病による動脈硬化の検査について（ABI） | 臨床検査技師 | 髙嶋　　祐作 | |
| | 糖尿病の食事療法 ～外食・中食の選び方のポイント～ | 管理栄養士 | 相馬　　藍 | |
| | 糖尿病の運動療法④　～下肢編②～ | 理学療法士 | 佐久間 智香 | |